

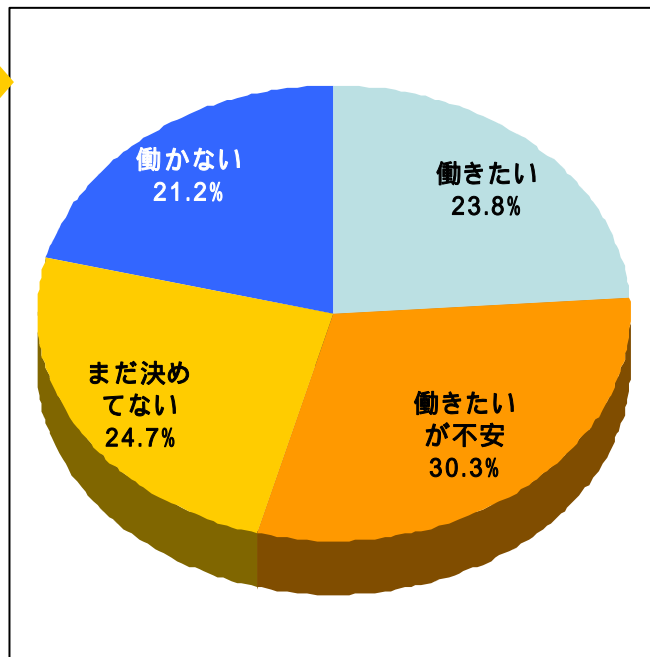
保育学生の就職意識について の 調査結果

本調査は、2008年10月現在、厚生労働大臣の指定する「指定保育士養成施設(大学・短大・専門学校)」に通う学生、及び、24歳未満の現役保育士、総勢193名に対して、アンケートを行った結果を基にしています。

2008年11月
キャリアフィールド株式会社
事業戦略室

Q1

卒業後、保育士として働きますか？



「保育士として働きたいが不安」
「まだ決めていない」と
半数以上の学生（55.1%）は、
保育士になることを迷っている。

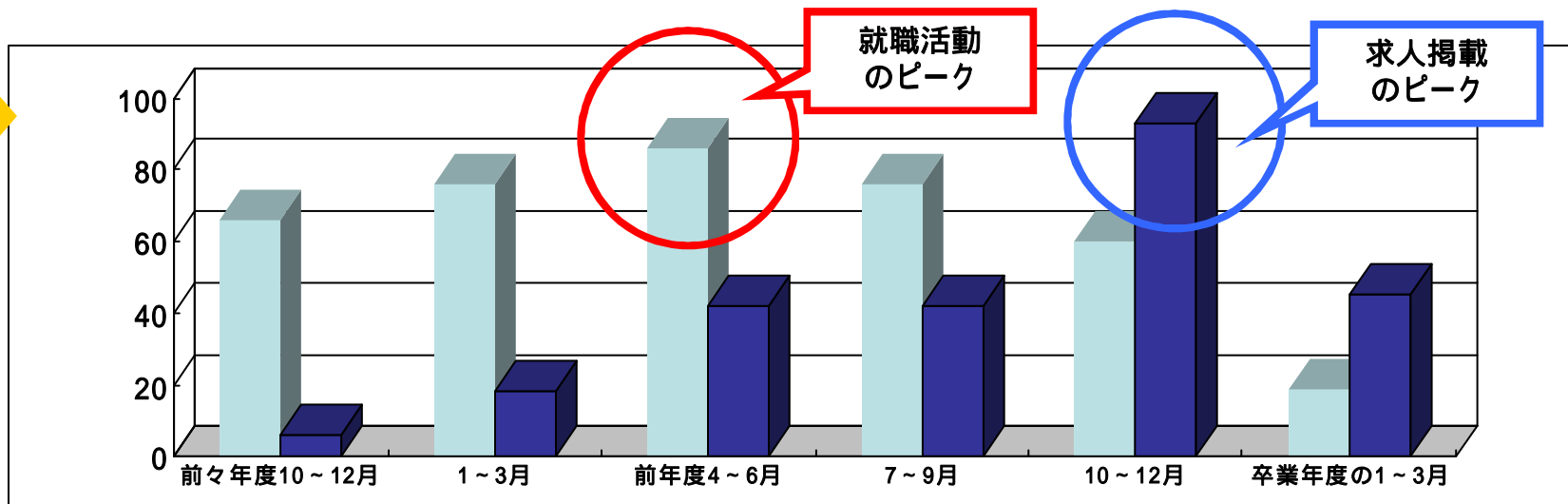
- 「迷っている」理由
- ・就職できるかどうか不安
 - ・少子化なので仕事が少なそう

誤った認識

迷っている学生に訴求するアプローチが必要

Q2

就職活動を行っている時期は？



学生が就職活動を始める時期と

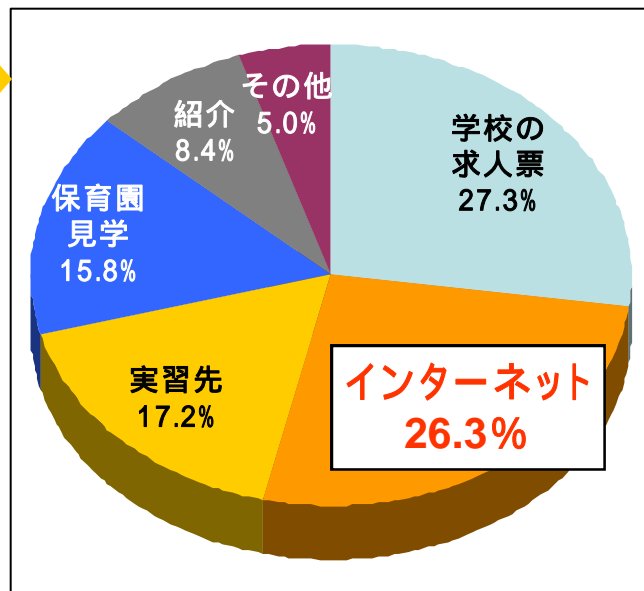
保育園が募集を始める時期に大きなズレがある。

さらに不況時には、更に学生の就職活動時期が早まり、

保育園の募集時期が遅くなる傾向があり、さらにミスマッチが生じる。

Q3

就職先を探す情報源は何ですか？



就職活動に利用する媒体は、

既に4分の1以上が
インターネットを利用

現在、主流とされている

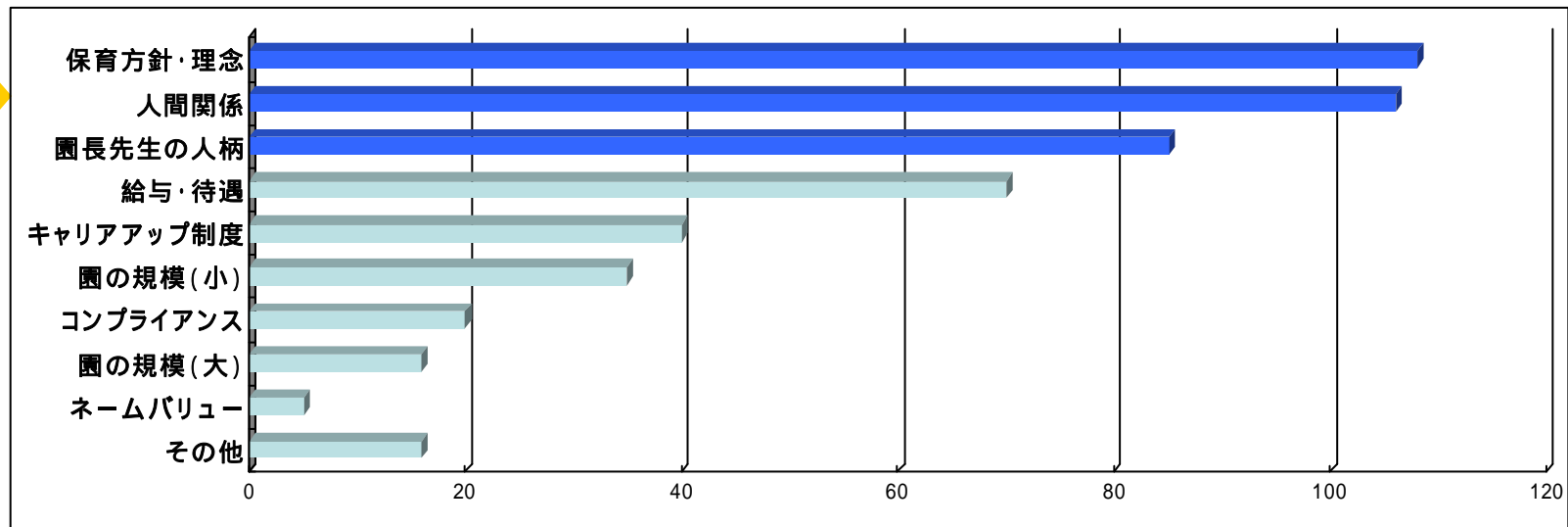
求人票とほぼ同レベルで利用。

一般大学生の95%がインターネット経由で就職活動を行っている(2005年)ことを考えると、今後もネット比率が大幅に高まると考えられます。

インターネットだから伝えることのできる広告を作る

Q4

就職先の保育園に重要視するポイントは？



学生が、就職活動の際に重視するポイント

(1) 保育方針・理念 (2) 人間関係 (3) 園長先生の人柄などソフト面で「給与・待遇」のハード面はその次の要素となる。

上位の3つのポイントを押さえることにより、「より効果的な広告」が作成できる

- 自分に合った園に就職出来るか不安でした。
- ちゃんと働く所に見つかるか不安
- 決まるかどうか。良い園かどうか。
- 就職活動で、まず何からやるべきか、すべてが不安。
- なかなか見つからない
- 募集が少なそう。
- 得られる情報が少ない
- 就職活動のやり方がいまいちわからない
- 面接で自分をじっくり見てくれるのか不安。
- 求人が遅いので不安。
- 時期がバラバラなので大変。
- 求人票以外に探すことが難しい。
- 希望する求人を見つけにくい。
- いつ決まるのか試験の時期が遅い
- 求人票の情報では少ないので決め手に欠ける。
- 教育方針とかははっきりしないことが多くてちゃんとした情報が得られないのか不満だった。
- 就職活動に関する情報が不足していると感じた。
- 卒業するのに忙しくて、実際実習などがバタバタしている。細かい情報をもっと欲しい
- 何をしたいのかわからない。動き出すきっかけがわからない。